スクラム
～立志・挑戦・感動～

浮羽中学校学校通信

第２９号（１０月２３日発行）
文責　校長　髙倉　満

プラス思考で生きよう！

あなたの生き方は「たし算」ですか、「ひき算」ですか。「たし算」、あれもやりたい、これもしようと、前向き。失敗しても「よし、この失敗を今度は生かして、一歩前進するぞ」とプラス思考で、明るく、元気に前へ進む。「ひき算」、やったって、どうせだめだろうから、やらない。やりたくない。いくらやっても周りの人も認めてくれそうにないし、やめとこう。と暗く受け止め、後ろ向きのマイナス思考。特に３年生の皆は、進路を前にして「今の自分の成績で志望する高校に行けるだろうか」「勉強はしているけど、なかなか成績が上がらない」等々。悩み出したらきりがありません。今自分にできる精一杯のことをやるしかないと思います。そうすれば、不安が自信へと変わるはずです。普段の生活でもいろんなことにチャレンジする心を失わないことが大切です。失敗しても、全力を注いでチャレンジしたことは、必ず未来への力として残ります。プラス思考で頑張っていきましょう。

高校入学はゴールではなくスタートだ！

「みんなが『行きたい』高校に行ける」、こんな制度が実現すればどんなに楽なことでしょう。入試制度も推薦入試や特色化選抜など変わってはいますが、残念ながら合否の判断にはまだまだ「点数」が大きなウエイトを占めていることは否定できません。
「『行きたい』高校に行かせてやりたい」、先生たちの願いです。そして、受験する以上は合格してほしい、というのもまた先生たちの願いです。「合格せんでいいから、受けるだけでも」と口では言っても、やはり「不合格」の３文字は相当な重みを持っています。本人の希望をいかしてやりたい、という思いと「１５の春」を涙でくもらせたくない、という思いとの間（はざま）で、担任の先生たちは頭を悩ませています。

みんなの中には、「あの高校に入学したい」と、中学校に入ってから、今までずっと目標にしてきた高校がある人もいるでしょう。ところが、担任の先生との面談の中で、夢やあこがれだけでは合格しない現実に気づいた人もいると思います。自分のあこがれてきた高校を変更しなくてはならない「きつさ」はよくわかります。でも、目の前の目標を消さず、最後まで自分にできる努力を続けてほしいと思っています。

大事なのは、３年・５年後！

高校を卒業するときに、次の進路に進める力をつけているか

高校は将来の夢へのステップのひとつにすぎません。「入ること」が目標ではありません。どんな高校であれ「その高校の３年間でどんな知識や教養や資格を身につけていくか、次の進路に進んでいける力をつけられるか、どれだけ友達の輪を広げて卒業して」いくか、つまり３年後の姿が問われます。どんな高校でもその看板を背負えるのはわずか３年間です。３年経てば、また新たな大学や会社の看板が待っています。将来の夢に近づく道は、決して１本ではありません。「この高校でなければダメ」ということはないはずです。３年生は今後「志望校変更」で悩むこともあると思います。道が閉ざされたわけではありません。道が１本増えただけのことです。今は遠回りに思えるかも知れませんが、もしかしたらこっちの方が近道だったりすることもあります。行き着く先は結局は一緒になることの方が多いのです。目的地は一緒。足もとを見つめるのではなく、目標を見失わないよう、しっかりと前を見て、自分の進路を切り開いていこう。

□生徒会役員立候補者

２５日（金）が立会演説会です。今回は９名の生徒が立候補してくれました。浮羽中生徒会をどんなふうにリードしてくれるか。どんな力を発揮してくれるか楽しみです。立会演説会では自分の考え、思いを全校生徒にぶつけてください。

○生徒会長候補	佐藤　澪君（２の２）	梶原理毅君（２の４）		
○副会長男子	岩下悠翔君（２の１）			
○副会長女子	瀧内杏莉さん（２の３）	堀江里咲さん（２の４）	臼井悠彩さん（２の２）	
○書記長	矢野雅人君（２の４）	江藤陵斗君（２の３）	西山文菜さん（２の２）	

◆福岡県新人陸上大会結果
中村優太君　３０００ｍ　３位（9分13秒47）　　高浪咲響君　予選惜敗